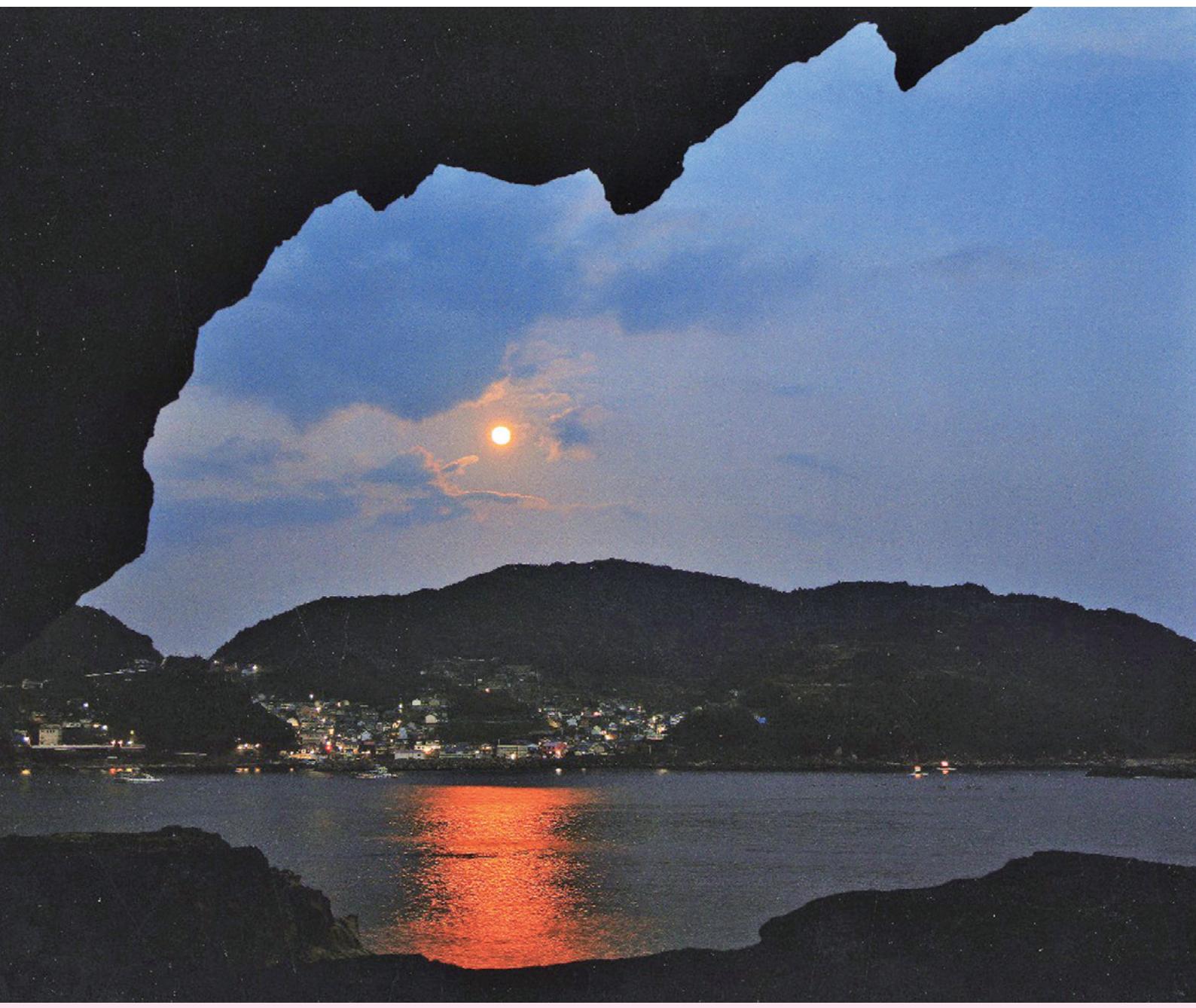


つながり

紀南病院スローガン(H28年4月～) あいさつから始めましょう



鬼ヶ城から見る満月(熊野市) 写真提供:紀南写真コンテスト

■病院理念

優しくて、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■基本方針

1. サービス精神(KINAN)の徹底

——(K)気持ちをこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、

(A)安心で安全な、(N)任務の遂行

2. 患者の権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
3. 生活の質の向上(QOL:quality of life)を中心とした診療と援助
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上(救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など)
5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供



平成29年 年頭あいさつ

紀南病院院長 須 崎 真

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は日本各地で大小の地震がありました。特に熊本県、大分県で発生したものは不意打ちとも思えるもので、つくづく日本が地震国であることを再認識させられました。南海トラフのことが頭をよぎった方もおられるでしょう。地震や津波に対する備えは、常に考えておくべき最優先事項にしておきたいと思います。

世界では相変わらず、テロ事件が多発しました。世界のどこで事件が起きても不思議ではありません。東京オリンピックが開催されるときには日本でもテロ対策に本格的に力を入れる必要がありそうです。

年末にかけてはノロウィルス感染症や気道感染症が流行し、三重県中の病院はその対応に追われたことと思います。

一方悪いことばかりではありません。明るい話題もいくつかありました。リオオリンピックでの日本選手の活躍や当地三重県での伊勢志摩サミットの開催などは日本中の人々が注目し、私たちの気持ちを高揚させてくれました。

さて、私ども紀南病院については、工事に2年を費やした本館がやっと昨年3月に完成し、救急対応とそれに続く急性期治療や回復期のリハビリテーションについて格段の機能向上が得られました。また、長年検討事項としていた旧病棟のトイレの改修なども併せて進め、7月には244床の新体制でスタートすることができました。

そして、9月には屋上のヘリポートも運用を開始しました。搬送患者の移動が院内で完了するため、治療の中止を最小限にすることができる、搬送時間も陸路より大幅に削減できるなどのメリットをいかして、救急搬送の強力な手段として活発に活動しています。工事中皆様にご迷惑をおかけしていた病院北側の駐車場も使用できるようになりました。

さて、今年は酉年ですが、皆さんどのような抱負をお持ちでしょうか。空に羽ばたくイメージでしょうか。紀南病院では、今年は今のところ昨年のような大きな事業は予定していませんので、酉年だけに諸事にじっくりと、かつスピード感をもってトリ組む1年にしたいと思っています。

本年も紀南病院が地域の中核病院としての責任を果たし、住民の皆さんに選ばれる病院として存在できるように、職員一同努める所存です。

今年も宜しくお願ひいたします。



木本高校吹奏楽部クリスマスコンサート開催



12月19日（月）当院にて、ハートフル委員会主催のクリスマスコンサートが開催されました。今年は、木本高校吹奏楽部による演奏が行なわれ、会場には患者さん、地域住民の皆さんなど約80名が集まりました。「サンタが町にやってくる」「となりのトトロメドレー」「I Remember Clifford」「冬の童謡メドレー」「古い日記」「あの鐘を鳴らすのはあなた」「青い山脈」「サライ」と馴染みのある曲の演奏が温かな雰囲気の中で行われ、一足早いクリスマスを締めくくりました。



『第4回 紀南メディカルラリー』開催予告

平成29年3月12日（日） 10:00～18:00 会場：紀南病院

4回目となる紀南メディカルラリーが上記日程で開催されます。当日の見学等のご希望は、紀南病院・医療安全推進室・庄司までご連絡下さい。

*メディカルラリーとは・・・1チーム4～6名で、外傷、内因性疾患、心肺停止に対する蘇生法、現場での安全確保の手順、トリアージなど多数傷病者への対応等などが問われる競技会。

●職員による学会発表●

<第56回全国国保地域医療学会>

平成28年10月7日（金）～8日（土） 山形県山形市

- 演題「眼科外来における患者確認方法についての一考察～予約票を活用した患者誤認防止対策～」 発表者：桐山ひとみ（看護師）

- 演題「南海トラフを迎える際の第3回紀南メディカルラリーの検証」 発表者：内野博久（看護師）



<第10回日本医療マネジメント学会三重支部学術集会>

平成28年10月15日（土）津市

- 演題「紀南病院における地域包括ケア病棟導入の検証」 発表者：塩見城士（看護師）



●平成28年度 紀南病院・きなん苑合同勉強会●

11月11日（金）、紀南病院・きなん苑合同勉強会が開催されました。この勉強会は、各部署の日頃の研究成果や取り組みの発表を行ない、相互の交流と活性化を図ろうと毎年開催しています。

<発表者と演題>

植 誠（臨床工学士）『透析療法の基礎知識について』

間下哲也（薬剤師）『簡易懸濁法とは？』

仲尾貢二（医師）『慢性硬膜下血腫の漢方治療その2』

岩田真美（看護師）『入院支援室について』



廣畠 静（看護師）『地域包括ケアについて』

内野博久（看護師）『地域包括ケア病棟を新設して1年間の振り返り～各データからの振り返り～』

輪野裕理（言語聴覚士）『嚥下障害患者における舌圧強化と摂食嚥下機能改善の関連』

渡邊紗野子（歯科医師）『当院の摂食機能療法の現状と今後の課題』

森本真之助（医師）『紀南病院における救急・災害対策委員会の報告』



●「和みの会」のクリスマス音楽会●



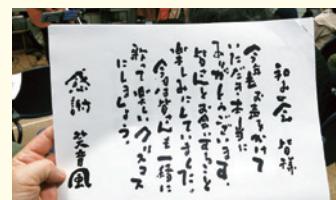
12月4日（日）、がん患者「和みの会」のクリスマス音楽会が、「まなびの里」で行われました。去年に続き、今年も「笑音風」のバンドの皆さんに来て頂き、がん患者様やそのご家族など含めて36名が一緒に歌って踊ってケーキを食べて楽しい時間を過ごしました。

和みの会は、主体を紀南病院の看護師から、現在は患者さんに移行して企画運営を行っています。そのことにより、患者さん同士の仲間意識や結束がより深まり、自分らしい人生を送ろうと前向き

になったという意見が多く聞かれています。地域で唯一のがん患者の会が、継続していくためには、病院として今後も引き続き、「ともに寄り添う姿勢」で関わっていきたいと思います。

次回は、3月14日（火）に当院の海の見える場所でサロン、4月には、山崎公園で花見を予定しています。

この地域のがん患者様に、和みの会があることを知っていただけますよう、この広報紙「つながり」をご覧になられている皆様より、お声をかけていただけると幸いです。 和みの会サポートスタッフ4階病棟看護師 田中由美子



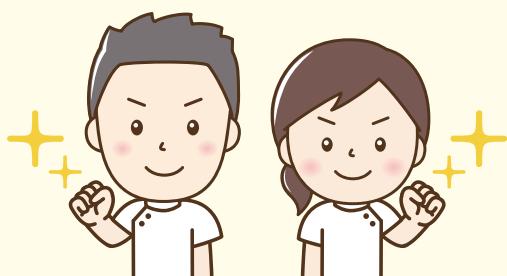
微熱少年だったころ

内科 高司 智史

小学校3年の7月の、もう10日ほどで夏休みになる頃。38℃前後の熱がでて保健室に連れていかれベッドで休んでいました。保健係の上級生のお姉さんが「布団をかぶると汗ができるから熱がさがるよ」と言ってくれたので布団をかぶってねていました。しかし熱は一向に下がらず体のだるさがどんどんまして意識もボーとするほどになりました。その後母が迎えに来てくれたのかどうか記憶もはっきりしませんが、それから1週間自宅ずっと布団でねっていました。診療所に通い薬をだしてもらっていたようですが症状は全然よくなりません。1週間目に診療所の先生が「背中の下の方でピーピーなっています。おそらく肋膜炎でしょう」と言っていたような記憶があります。ピーピーなるって何?なんか背中の中にいるの?訳のわからないまま、その日から毎日ストレプトマイシンの筋肉注射を受けに診療所に通うこととなりました。肋膜炎はいまならば結核性胸膜炎と述べられるでしょうか。50年近く前は肋膜炎(私にとってこの言葉はその後の人生でトラウマとなりましたが)というのが普通だったような感じです。毎日母におんぶしてもらい診療所に行き、筋肉注射されて、帰ってからは布団でねる。夏休みがはじまても誰とも遊びに行けず、当初はずっと天井をみている(ほんとはテレビのアニメをみていたはずですが)イメージしかのこっていません。あまりにかわいそうにおもったのか4歳年上の兄がエポック社の野球盤をかけてきて二人で野球盤を延々とやっていたような感じです。夏休み40日間まるまる療養して新学期がはじまり学校に行けるまで体力は回復しました。ひと夏屋内にいたため体は真っ白すごく恥ずかしい思いがありました。病気になるまでは好き嫌いの多いやせっぽちの少年でしたが、病気になって以降やたらごはんを食べるようになりその後数年ののちには肥満児になっていました。



自分の病気に対するイメージは9歳の時のひと夏ずっとねていた思い出です。なんとも言えない閉塞感のような感覚、早く元気になって外で遊びたいという渴望などが思い浮かびます。



紀南病院で療養されておられる皆様のお気持ちに私たち病院職員が寄り添うことができますように、これからも紀南病院職員一同頑張ってまいります。皆様が早くお元気になられてご自宅にお帰りになる日まで紀南病院のスタッフは見守させていただきます。宜しくお願いします。



紀南病院外来診療担当表

平成29年1月5日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科 (予約制) (紹介状要*)	初 診	山本 貴之	鈴木 光哉	野口 正満	濱口 政也	森川 昇玲
	再 診	高司智史(午後)	高司 智史	野口正満(午後)	高司 智史	森川昇玲(午後)
		小林 文人	森本真之助(午後)	小林 文人	小林 文人	一井 佑太 又は小野佑太(午後)
		山本貴之(午後)	鈴木光哉(午後)		濱口政也(午後)	
	専門外来		リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎	血液内科外来 (第1・3週)(午後) 中井 桂司		糖尿病外来(月1回) 住田 安弘
				リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎		肝臓病外来(月1回) 杉本 龍亮
						循環器外来(月1回) 山門 徹
外 科	1 診	乳腺専門外来(第1週)(予約制) 小川 朋子	須崎 真			須崎 真
	2 診	奥田 善大	小出 泰平	小出 泰平	小出 泰平	奥田 善大
整形外科 (受付11時迄)	初 診	西村 誠 奥野 一真	担当医師	西村 誠	奥野 一真	奥野 一真
	再 診	西村 誠 奥野 一真		西村 誠 奥野 一真	西村 誠	
脳神経外科 (予約制) (紹介状要)	1 診		リハビリ外来 山中 学	柄尾 廣	岡田 健	
* 眼 科	1 診			久保 朗子	久保 朗子	久保 朗子
	2 診	休 診	日吉 敦寿	日吉 敦寿	日吉 敦寿	日吉 敦寿
産婦人科	1 診					
小児科	1 診	間宮 範人	間宮 範人	間宮 範人	間宮 範人	間宮 範人
		小児発達外来 (第1・3週)(予約制) 成田 正明				
皮膚科(予約制*)	1 診				小出真紀(午後)	
神経内科 (予約制) (紹介状要*)	1 診				松浦慶太(隔月)	成田 有吾 谷口 彰
						もの忘れ外来(月1回) 佐藤 正之
泌尿器科 (予約制) (紹介状要)	1 診			梶原 進也		
耳鼻咽喉科	1 診				松浦 徹(午前)	
歯科口腔外科	1 診	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二
健診センター	ドック健診	高司 智史	小林 文人 高見 麻子(第2週)	高司 智史	奥野 正孝	二村 昭 高見勇一郎
備 考	<ul style="list-style-type: none"> * 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までです。ただし、急患については時間外でも受付します。 なお、当院を初めて受診される患者様及び診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 * 内科は紹介予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です。健康診断で異常を指摘された場合も電話予約が可能ですが、結果票のほかに、かかりつけ医の「紹介状」をご持参ください。 ただし、当院で健診を受けられた方は、紹介状は不要です。 * 神経内科は診療枠に限りがあるため、「内科」(予約要)か「脳神経外科」をまず受診いただき、その際、「神経内科」受診の必要性を判断させていただきます。事前にお電話で、地域連携室にご相談下さい。 * 眼科は、小児(中学生まで)の検査は午後の為、予約が必要となります。(眼科外来までお電話ください)。 ・コンタクトレンズの取り扱いはしておりません。 * 皮膚科は完全予約制のため、予約が必要です。平日の午後2時～5時の間に地域連携室までお電話ください。 * 脳神経外科は紹介予約制の為、予約が必要です。 紹介状があれば電話予約が可能です。平日の午後2時～5時の間に地域連携室までお電話ください。 					

「脳神経外科」診療日程変更のお知らせ

平成29年1月4日(水)より毎週、

水曜日 (柄尾廣医師)

木曜日 (岡田健医師) の診療となりました。

「紹介予約制」ですので、紹介状と事前の予約が必要です (電話予約可能)。